

植樹式 2001



時の蘇生・柿の木プロジェクト

2月27日		東北生活文化大学高等学校（旧三島学園女子高等学校）・・・	1
		日本・宮城県・仙台市	
2月27日		虹の丘公民館 前庭	2
		日本・宮城県・仙台市	
3月1日		須坂市立高甫小学校	3
		日本・長野県・須坂市	
3月6日		シントラ現代美術館	4
		ポルトガル・シントラ	
3月8日		国立ウェールズ植物園	5
		イギリス・ウェールズ	
3月9日		フィンズベリー公園	6
		イギリス・ロンドン	
3月10日		太平地区広場	7
		日本・新潟県・十日町市	
3月11日		タシュマイダン公園	8
		セルビア・ベオグラード	
3月21日		コフシップ小学校	9
		オランダ・ズィーリッセ	
4月27日		ブルックリン植物園	10
		アメリカ・ニューヨーク	
5月7日		モンテソーリ幼稚園	11
		イタリア・クレモナ県・クレマ市	
5月19日		タウンシェンドインターナショナルスクール （チェスキークロムロフ町立公園から移植）	12
		チェコ・チェスキークルムロフ	
4月10日		大垣市立赤坂小学校	
		日本・岐阜県・大垣市	
4月12日		大垣市立宇留生小学校	
		日本・岐阜県・大垣市	
4月12日		大垣市立安井小学校	
		日本・岐阜県・大垣市	
4月13日		大垣市立東小学校	
		日本・岐阜県・大垣市	

東北生活文化大学高等学校 (旧 三島学園女子高等学校)

日本



宮城県・仙台市



2001年2月27日

東北生活文化大学高等学校（旧三島学園女子高等学校）の倉本郁哉先生が越後妻有トリエンナーレの柿庵の展示を見てプロジェクトに参加申し込みをしたことから、植樹が実現しました。この年はちょうど三島学園100周年記念の年。その記念祭の一環として柿の木の植樹式が行われました。

植樹式は学校の在校生、関係者、近隣の方々の850人近くが参加する大規模なものとなり、植樹と同時に生徒らが10年後の自分にあてた約1100通のメッセージ入りタイムカプセル「柿の木ボトル」を土の中に埋めました。また、同じ市内の虹の丘公民館にも、もう1本の柿の木が植樹されました。

残念ながらこの年、学校に植樹した柿の木は土壌の問題もあり枯れてしまいましたが、翌年の3月には植樹1周年祭を祝うと同時に、新たな柿の木の再植樹が行われました。東京から小池伸男先生が参加し、講演を行いました。新しい植樹場所は日当たりが良く、土の状態もよい場所です。記念式典の中で紹介されたメッセージロールはとて大きく、とにかく圧巻なものでした。現在の長さは35メートル、巻物内面に生徒一人一人が「私にとっての幸せ」や「私の一生の友人へのメッセージ」などを貼り付け、外面には今年度の平和に関する新聞記事などのデータ

ベースが張り付けてあります。会場内を10名以上の生徒が持ち歩いて回ると、会場内から歓声があがりました。PTAのお母さんたちもこの力作に感動していました。

10年巻物計画メッセージロールは植樹式の前に、有志の生徒数名と生徒会総務で制作したものです。柿の木プロジェクトのコンセプトに基づき植樹祭から収穫祭までの10年間、明確にすべての生徒が共有してプロジェクトを継続していくために計画され、毎年新たなオリジナルの巻物が10本できあがる構想です。

さらにこのプロジェクトの達成感を生徒らと共有するために、この10巻の巻物をひとつにつなげ約500メートルの巻物をつくり、10年後の収穫祭でこの10本を同時に公開する計画を立てました。その後、柿の木は成長し続け、毎年2月27日には平和学習を行ってきました。2010年10月30日に開催された植樹10周年は、三島学園創立110周年記念式典の日に開催されました。10周年祭には、当時の生徒会長が、ご自身の子どもを連れて出席し、スピーチをしてくださいました。毎年制作し続けたオリジナルの巻物10本も完成し、出席者に披露されました。約1100通のメッセージ入りタイムカプセル「柿の木ボトル」もとりだして、展示されていました。



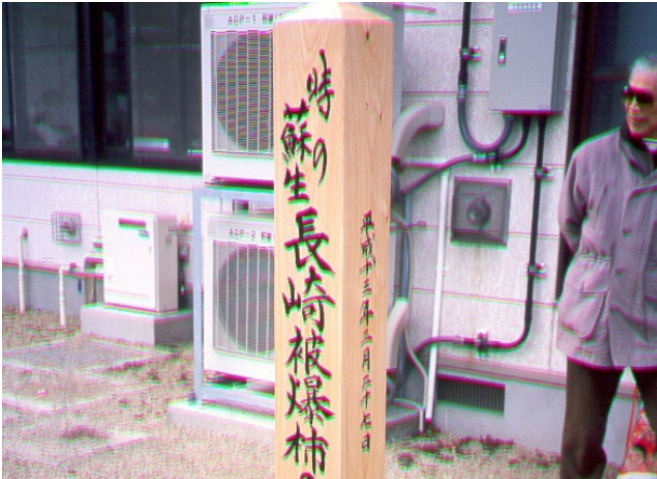
虹の丘公民館 前庭

🇯🇵 日本

📍 宮城県・仙台市

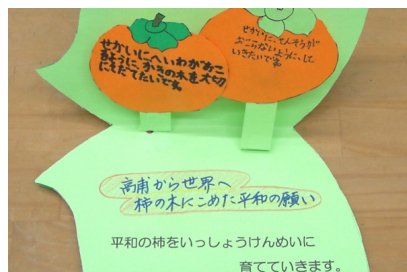
🌱 2001年2月27日

東北生活文化大学高等学校（旧三島学園女子高等学校）の植樹と同日の午後に、近所にある虹の丘公民館にも柿の木が植樹されました。植樹式には東北生活文化大学高等学校（旧三島学園女子高等学校）の生徒の代表数名と先生方も参加してくださいました。1周年祭の時に訪れた虹の丘公民館の柿の木は元気に育っていました。植樹された前庭の隣りが児童館になっているので、子どもたちからもよく見える場所に植樹されています。また植樹についての看板も大きく、「被爆柿の木2世」のことが紹介されていました。



須坂市立高甫小学校

🇯🇵 日本
📍 長野県・須坂市
🌱 2001年3月1日



須坂市高甫地区は昔から柿の産地として有名で、高甫小学校の校章は柿の花をデザインしたものになっています。地域の人々の柿に対する思い入れは格別のものがありますが、昭和46年の伊勢湾台風により、ほとんどの柿の木が倒れてしまい、「柿の里」の面影はなくなってしまいました。須坂市高甫地域づくり推進委員会の会長荒井清治さんが柿の木プロジェクトを紹介した新聞記事を読み、かつての「柿の里」に「被爆柿の木2世」を植樹して、「平和運動への発火点」としていきたい、との思いから植樹申し込みをしました。

植樹に先駆けて、子どもたちは平和への願いを書いた立体メッセージカードを作ってくれました。カードを開くと2個の柿の実がとびだし、柿の実には平和への思い、柿の木を大切にしたいなど、各自のメッセージが書かれています。

植樹式は全学年の児童と地域の人々が参加し、柿の木の授与、須坂市高甫地域づくり推進委員

会長・荒井清治さんの挨拶、海老沼正幸先生のスピーチがありました。鼓笛隊による演奏が行われ、柿の木に土がかけられました。

植樹の翌年、地元住民に柿の木の愛称の募集を行ったところ、高甫小学校1年生の作品が選ばれました。2本の柿の木には「タッキー」と「ナッキー」と名前がつけました。

その後も、柿の木は実をつけるほど順調に大きくなりました。高甫小学校では、植樹後、毎年11月に、全校児童による「柿の皮むき体験会」を開催し、子どもたちと老人会、婦人会、PTA、地域づくり推進委員、地域の方々が一緒になって干し柿をつくり、児童や幼稚園、近隣の施設に届けています。

高甫小学校の平和活動を推進してきた当時の堀込明紀校長先生は、退任後も小学校の柿の木を見守り続けて下さっています。

シントラ現代美術館

 ポルトガル

 シントラ

 2001年3月6日

シントラ市は長崎県大村市と姉妹都市です。13世紀から王室の避暑地として栄え、現在でも中世の宮殿や教会が数多く残っていることからユネスコの世界遺産に登録されています。



美術館ディレクターのマリア・ノーブル・ブランコさんがベニス・ビエンナーレの展示をみて植樹を申し込みました。シントラ市は文化政策にとっても力を入れており、美術館では毎週、小学校と協力して子どもたちのためのワークショップやガイドツアーを実施していたので、ぜひ柿の木を迎えたいと希望しました。その後、マリーナ・セケイラ・コスタさんが市や学校に働きかけ、2年間かけて植樹プロジェクトを作りあげました。式典では劇



や歌など多彩なプログラムが披露されました。中でも A.J. 学校のホセ・マニエル先生と生徒達は半年間練習したというパフォーマンスで柿の木プロジェクトの「蘇生」のテーマを見事に表現しました。「柿の木をテーマとした展覧会」では幼い子どもたちがお辞儀やキスなど世界のさまざまなコミュニケーションを表現したパフォーマンスでオープニングを飾りました。



国立ウェールズ植物園



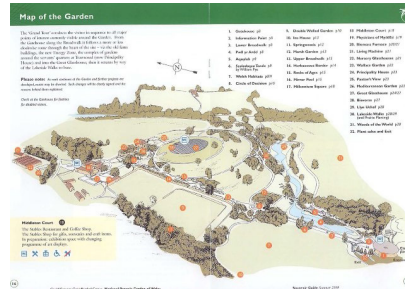
イギリス



ウェールズ



2001年3月8日



国立ウェールズ植物園はロンドンの西、電車で約1時間半の南ウェールズ地方の農村地帯にある植物園です。アートアドバイザーのマイケル・ニクソンさんが1999年のベニス・ビエンナーレでの柿の木プロジェクトの展示を見て、植樹を申し込んできました。

植樹式当日、イギリスでは牛の口蹄疫病が流行していて、植物園は人の出入りを厳重に管理しており、レストランも閉館していました。そのため、植樹式に招かれた人たちや子どもたちも来園することができませんでした。この日は柿の木を贈呈し、仮植えのみの植樹式となりました。その後も柿の木は植物園で大切に育てられています。



フィンズベリー公園

🇬🇧 イギリス

📍 ロンドン

🌱 2001年3月9日



フィンズベリー公園はロンドンの東北、町を一望できる丘の上にある市民公園です。公園の横には芸術家のスタジオが集まるアパート、パークスタジオがあり、25人ほどのアーティストが制作をしています。

その中のハンス・ディメルさんとビー・ファン・デル・ヘイデさんが1999年にベニスビエンナーレで柿の木プロジェクトの展示を見て植樹に応募しました。地元での植樹実現のため、学校を何十校も電話であたり、5校を訪問。そして、フィンズベリー公園の近くにあるストラウド・グリーン小学校にめぐり合い、1年間待ってようやく植樹が実現しました。この学校は様々な人種の子どもたちが学ぶ公立学校。柿の木プロジェクトにはピッタリの学校でした。職員も皆理解を示

し、植樹前に小学校で行われたワークショップによって、子どもたちの理解度が深くなっていました。

ワークショップは植樹式に先がけ3月6日と7日の2日間かけて実施しました。ハンス・ディメルさんの妻でアーティストのビー・バン・デル・ハイドさんが企画しました。学校近くのパークスタジオを拠点とする5~6人のアーティストが中心となり小学校全学年450人を対象とした大規模なワークショップを展開しました。内容は全校生徒にメッセージカードを描いてもらい、それを植樹当日、学校から行進して、柿の木の下に埋めるというものです。

植樹式には小学校の5歳~10歳までの100人くらいの子供とその両親が参加しました。式典は晴天に恵まれ、ハリンゲー地区の市長も出席し、お祝いのスピーチを行ってくれました。



太平地区広場

🇯🇵 日本
📍 新潟県・十日町市
🌱 2001年3月10日

2000年、柿の木プロジェクトは「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2000」展に参加し、松代町太平地区の方々の協力のもと、空き家の民家を改造し、「柿庵」として展示を行いました。これをきっかけに、太平友の会、太平子ども会から植樹申し込みがあり、松代町太平地区での植樹が実現しました。冬は積雪が厳しいため、3月10日に贈呈式、10月28日に正式な植樹式が行われました。

3月10日、松代町のイベント「越後冬の陣」のステージにて柿の木の贈呈式は行われました。式では、柿の木プロジェクトの説明、海老沼順子さんから柿の木贈呈、太平子ども会代表の武田拓也さんの挨拶がありました。

とても雪が激しく、気温も低かったにもかかわらず、多くの人々が集まってくれました。



10月28日に植樹式が開催され、よしだゆうさんによるワークショップが行われました。ワークショップには、植

樹に立ち会ってくれた幼稚園児から高校生まで太平地区の子どもたち数名が参加




してくれました。ワークショップでは、太平の収穫祭に合わせて植えられた柿の木が、10年後大きくなって実を付けた姿を想像し、2つのグループに分かれて大きな画用紙に実をつけた柿の木を描いていきました。柿の実と同じ色の太陽を背にして伸びる柿の木の絵と、違った表情の柿の実が描かれた絵がそれぞれ完成しました。この絵は松代の里の家に展示されることになりました。

柿の木はその後松代町太平地区の人たちに見守られ、すくすくと成長を続けています。また、展覧会終了後も参加スタッフが「柿庵」に住んでいたこともあり、松代町太平地区の人々と柿の木プロジェクト実行委員の交流は、現在でも続いています。

2015年夏の大地の芸術祭においては、展示とアーティスト浅野みささんによるWS「いろイロはためく」、2018年の有大地の芸術祭においては、「あそびとくらし●▲■」さんによるパエリアづくりと、浅野みささんにより旗制作のワークショップを開催しました。柿の木をずっと見守って下さり、雪から柿の木をまもり続けてくださった地元の方により、見事に被爆柿の木3世の生育にも成功しました。

タシュマイダン公園

 セルビア（旧ユーゴスラビア）

 ベオグラード

 2001年3月11日




ベオグラード市内に入るとコソボ紛争で、NATO軍が行った1999年の空爆により、破壊されたビルが目につきます。今回、プロジェクト参加申し込みを行ったアレックス・ジョルジェヴェッチさんは「爆撃を受けるまでは、イラクや原爆も対岸の火事だったが、今は人事ではない。それは人類の問題であると強く思う。だからこそ、柿の木プロジェクトをこの場所で行いたかったし、それは特別の意味を持っている」と語っています。アレックスさんは柿の木プロジェクトへの熱い思いから、来日までして、植樹を実現させました。

植樹式はSKCギャラリーで行われました。アレックスさんの母校でもある小学校の子どもたちが次々と手に絵を持って集まり、SKCギャラリーの壁に貼っていきます。正面の壁には日本の谷中コミュニティセンターの植樹記録がプロジェクトで紹介されていました。式典には小学校の子どもたち、ユーゴスラビア文部大臣、日本領事館の方も参加してくださる中、アレックスさんのスピーチ、海老沼先生のスピーチ、ユーゴスラビア文化大臣の挨拶と続きました。

そして、子どもたちと共に参加者全員、柿の木の鉢植えを持ったアレックスさんと一緒に植樹場所であるタシュマイダン公園へおかい、町の中を行進しました。植樹場所では、数人のこどもが春の訪れを祝う詩などを読み上げ、植樹が行われました。植樹後には、あやつり人形が上演され、柿の木を大切に育ててほしいと子どもたちにおけてパフォーマンスが行われました。



コフシップ小学校

 オランダ
 ズィーリッゼー
 2001年3月31日

ゾンネンメーア在住の農家ヤープ・フェルセプトさんから植樹の申し込みがありました。ヤープさんはジャガイモなどの野菜を育てる傍ら、広大な農場にアート作品を設置し、毎年のように、世界中からアーティストを招いて音楽、演劇、詩やパフォーマンスを繰り広げる「農場祭り」を開催して地元の人々と楽しんでいます。柿の木プロジェクトの趣旨に感銘したヤープさんは、地元アーティストを中心に柿の木プロジェクト現地事務局を設立。当初はオランダ・日本友好400年にあたる2000年の植樹を目指していましたが、農場祭が開催される夏は植樹にふさわしいシーズンではないため、柿を鉢植えにして農場祭でお披露目して歓迎しました。この鉢植え



園とCBKライデンの担当者が助言してくれたもので、ふたつの植樹地は情報を共有し、苗木の受入れなど協力しあってプロジェクトを進めてくれました。そして、ヤープさんはゾンネンメーアから北にいったズィーリッゼーのコフシユ小学校に柿の木プロジェクトの趣旨を説明して理解を求め、2001年に植樹を実現しました。

植樹式を前に、小学校ではアーティストのテヤ・ファン・ホフテンさんによるワークショップが行われました。子どもたちは着物姿で「なぜ」「なに」という日本語を習字で書いたり、紙のうちわや凧、柿の種、折り紙などを制作しました。

植樹式では小学校の子どもたちがみんなで歌を歌って歓迎し、柿の木と植樹式に参加した実行委員の絵をたくさん描いてくれました。また校内の一室には日本の文化を紹介するコーナーが設けられ、ワークショップで制作した作品が展示されていました。

ブルックリン植物園

🇺🇸 アメリカ

📍 ニューヨーク

🌱 2001年4月27日

今回の植樹は、都市園芸家の方が1998年のニューヨーク国連本部の「意識のふち」展の柿の木プロジェクトの展示を見て、植樹を希望。その後、ファミリースクールの先生と出会い、正式に植樹申し込みを行いました。

ファミリースクールはニューヨークの国連の近く、町の中心にあるため庭がなく、少し離れたブルックリン植物園に交渉し、4月27日に、ブルックリン植物園で植樹式が行われました。ブルックリン植物園は以前から柿の木プロジェクトに興味を持ってきていました。当日のワークショップは、子どもたちの手で大きな帆に被爆柿の木に対する絵やメッセージを描いたものでした。美しい青空の下、子どもたちは力強く平和のメッセージを読み上げてくれました。この日は、ブルックリン植物園で毎年行われている「さくら祭り」の最中だったこともあり、子どもたちは日本語で「サクラサクラ」を歌ってくれました。様々な事情が重なり、この日の植樹式では、柿の木は大きな植木鉢に仮植えとなりました。この年の9月11日に、世界貿易センタービルを襲った恐ろしい同時テロがあり、柿の木プロジェクトが中心となり、ファミリースクールの子どもたちへ励ましのメッセージを届けました。その後、残念ながら柿の木が枯れてしまったという連絡が先生からありました。



モンテソーリ幼稚園

 イタリア

 クレモナ県・クレマ市

 2001年5月7日

ガリレオ・ガリレイ技術養成高等専門学校の生徒5人が1999年のベニスビエンナーレで柿の木プロジェクトの展示を見て、プロジェクト参加の申し込みをしました。最終学年の卒業研究の一環として、プロジェクトに参加。平和、文化、歴史、原爆をテーマにしてCD-ROMも作成を予定しています。

植樹式は、モンテソーリ幼稚園で開催され、当日はあいにくの雨降り、すべての行事が屋内で行われました。ガリレオ・ガリレイ技術養成高等専門学校の生徒が中心となり、モンテソーリ幼稚園の園児や、近隣の小学校、中学校から子どもたちが招待され、クレマ市長、クレマ文化協会会長、クレマ議会議員も参加してくれました。ワークショップは4人のアニメーターの協力を得て行われました。子どもたちは絵を描き、紙やポリスチレンで柿の木を作りました。侍の着物を作ったこどももいました。式典は、平和のメッセージを書いたたくさんの風船を空に飛ばす中、順番に柿の木に土をかけていきました。バンドによる音楽演奏ののち、ワークショップで作った木製の柿の木に、すべてのメッセージや絵を吊り下げていき、みんなでひとつのオブジェをつくりあげました。

タウンシェンドインターナショナルスクール (チェスキー・クロムロフ町立公園から移植)

 チェコ

 チェスキー・クロムロフ

 2001年5月19日

チェスキー・クロムロフは美しい緑と中世の町並みが残る古都で、ユネスコの世界遺産に登録されています。また、この町にはナチスに占領されたスデーデン地区の一部だったという悲しい歴史もあります。

1999年ベネチア・ビエンナーレで「被爆柿の木2世」に出会った生物学者のイヴォ・モラヴェツさんは、チェスキー・クロムロフの戦争の記憶を風化させないようにインディペンデント・カンパニー・オブ・アートの仲間と共に植樹を企画しました。

植樹に先がけて、3月4日に柿の木の贈呈式が行われました。贈呈式では、子どもたちの手で苗木が特製の鉢に植えられ、ワズコさん一家の弦楽四重奏のミニコンサートが行われました。

5月19日の植樹式では、最初にペドロ・スラデクさん夫妻のアトリエ前の庭で、陶芸ワークショップが行われました。6名の子どもたちがペドロさんの手引きにより、粘土で思い思いの作品を作りました。また子どもたちの親や、地元の方々も一緒に折り紙なども行われました。その後、みんなでコンサート会場へ移動しました。コンサート会場は、貴族の古い邸宅をホテルに改築した美しい建物です。コンサートが始まる前、記念コンサートの意義、柿の木プロジェクトについての話がありました。15歳の少女によるピアノのソロ演奏に続き、ボヘミアンシティオーケストラも参加し、素晴らしいモーツァルトのピアノ演奏が行われました。この植樹式には、ドイツ在住のアーティスト、田中さんと下城さんがプロジェクト代表として参加してくれました。

その後、町が洪水にみまわれ、2002年チェスキー・クロムロフから30キロ北の町にあるタウンシェンドインターナショナルスクールに移植されました。現在、柿の木は国際学校で大切に育てられています。

